

三

柔

整

た

よ

り

2019年4月25日発行
平成31年度号



日永の追分



公益社団法人 三重県柔道整復師会

目次

CONTENTS

会長挨拶 『巻頭言』	1
特集 『社団法人設立50周年記念事業』	2
平成31年度 東海ブロック会事業計画、収支予算書	5
学術論文「小学生バスケットボールチームでオスグット病が減少した事例から」	6
平成30年度 ボランティア活動報告	8
みえ旅助 四日市編	9
少年柔道 県大会～全国大会	12
行事報告（三柔整ギャラリー）	16
会員投稿	22
新入会員紹介、ご結婚、退会、お悔やみ	25
事務員紹介、原稿募集、編集後記	26
会訓	27
柔道整復師倫理綱領	29

巻頭言

会長 伊藤 宣人



緑が美しい風薫る爽やかな季節となってまいりました。

先生方におかれましては本会の事業推進につき、ご理解とご協力を賜り感謝を申し上げる次第です。また、昨年におきましては本会の大きな事業のひとつでありました社団法人設立50周年記念式典が皆様のご協力をもって恙なく挙行され盛会裏に終わりましたことは万感の思いで一杯です。

この事は公益社団法人三重県柔道整復師会の先達の先輩諸兄、並びに会員すべての先生方のこれまでの公益活動における事業実績の歴史が行政・保険者、関係各位において大きく周知されました事に感謝申し上げる次第です。さらに、三重県知事表彰、三重県労働局表彰、(公社)日本柔道整復師会表彰、(公社)三重県柔道整復師会表彰を受けられましたそれぞれの先生方におかれましては、改めてお祝いを申し上げますと共に今後益々のご活躍を期待致します。

さて、4月30日には天皇陛下が御退位され、翌5月1日には皇太子殿下が御即位され、元号も令和と改まり新たな時代が到来致します。

我が業界も振り返りますと平成28年の適正化をもとに(公社)日本柔道整復師会の主導により厚生労働省社会保険審議会柔道整復療養費検討専門委員会における激しい議論の末、昭和45年単独法になって以来の実に48年ぶりの大きな制度改革が行われ、施術管理者の要件強化につきましては平成30年4月1日よりスタートし、実務経験は、1年、2年、3年と段階実施でありますが必要要件となりました。施術管理者研修については全国各地域において16時間以上、2日間程度による受講が始まり、東海地区においては昨年7月に第1回が実施され2回目は平成31年1月の実施となり、私はいずれも1日目の適切な保険請求「受領委任払いという制度を守るために」の講義を担当させていただきました。当日は、200名にのぼる受講者が「施術管理者が適切に柔道整復療養費の支給申請を行う

とともに、質の高い施術を提供できるようにする。」ことを目的とした全体講義を受け、最後は実際の手書きによる施術録を記載する場面もあり新たな施術管理者になる為の研修に熱心に取り組んでいました。

また、柔整審査会の権限強化による面接確認については平成30年12月17日付けで厚生労働省保険局医療課より発出され、今後は、各審査会等において傾向審査による作為的な申請書、治癒、初検を繰り返す等の傾向がある施術者は面接確認において面談される事となります。日々の施術録等の記載が必須でありこれまで以上に患者様とのコミュニケーションが大事になります。

柔整業界を取り巻く環境は益々厳しさを増しこれまでと違う環境が構築され、新たな対応が求められる事となります。会員の皆様方に於かれましては、適切な保険取扱いを心掛けて頂きます様お願い致します。

本年は、公益事業の柱のひとつであります第25回柔整師杯県下少年柔道大会が念願のサオリーナ(津市)において開催されます。業務で何かとお忙しいことと思われませんが是非、先生方のご協力をお願い致します。また、三重県に於きましては2021年に「とこわか国体」が46年ぶりに開催される事となっており、この国体につきましても公益事業の大きなひとつとして是非協力をしていかねばならないと考えています。

本会事業推進の公益事業は公益1(医療保険受領委任制度の適正な運用)公益2(県民の健康保持及び青少年の健全育成)公益3(柔道整復師の資質の向上、柔道整復術の普及発展)、であり、これらすべての公益事業をしっかりと認識していただき先生方のご協力をもって業務遂行することが保険者、行政、地域社会からの信頼を回復することに繋がると考えます。

どうか未来の100年に向けてしっかりとこの業界を存続させるためにも皆さんと共に頑張っていきたいと思致します。

特集 社団法人設立 50 周年記念事業

本会歩み

大正13年 5月 三重県柔道整復師会の創設
昭和 3年 1月 三重県柔道整復師会（公認）発足
昭和43年 6月 社団法人三重県柔道整復師会 設立

昭和43年10月 社団法人認可登録
平成26年 4月 公益社団法人に移行

11月3日

●伊勢神宮参拝

快晴に恵まれたこの日、午前11時20分、日整役員・各都道府県会長と本会役員の15名が近鉄宇治山田駅に集合し、マイクロバスにて伊勢神宮内宮に向かいました。案内役の神宮職員伊豆田氏に出迎えていただき、歩いて宇治橋を渡ると、いつものことながら空気が一変しました。左側へ道を逸れ宇治橋をバックに全員で記念撮影を行い、五十鈴川で手（身も心も）を清めたあと、いざご正宮へ向かいました。日整工藤会長が記帳をして正式参拝（御垣内参拝）へ、白石を踏みしめ外玉垣の中へと移動し、日々の感謝を込めて二礼二拍手一礼。続いて個人のお願いのために荒祭宮へ。途中の参道には、沢山の人が触り根元の部分の皮が剥がれている大きな神宮杉があり、皆さん思い思いに触りパワーをいただきました。荒祭宮参拝後、伊豆田氏より和御魂、荒御魂、古殿地、遷宮等について説明を受け、伊勢志摩サミットで植樹された杉を見学し神宮を後にしました。参拝の後は、おかげ横町を散策し、赤福餅などを召し上がっていただき、四日市へと向かいました。



●夕食会

午後5時40分、日整役員・各都道府県会長・本会役員の総勢43名が、四日市都ホテルロビーに集合し、マイクロバスと徒歩の2組に分かれ、夕食会場である創業100年余りの料理旅館「大正館」へ移動しました。着席後、伊藤会長の歓迎の挨拶に始まり、日整工藤会長からご挨拶を頂戴しました。参加者の紹介の後、鹿野岐阜県会長に乾杯の音頭を執っていただき歓談が始まりました。伊勢志摩サミットで有名になった三重の地酒を酌み交わしながら各都道府県との情報交換や、柔整の課題や未来について語り合い有意義な時を過ごしました。途中で日整三橋総務部長より柔整師のおかれている現状と対策、日整の行政・保険者に対する取り組み等のお話や、山口県柔整師会の公益法人への認可がなされ、これにて全国47都道府県の柔整師会が公益法人化したとの報告があり、盛大な拍手に包まれました。日整市川理事の三本締めの後、最後に集合写真を撮り、和やかなうちに閉宴となりました。



午前9時50分、式典の準備と会員の受付終了後に写真撮影が行われました。本日の表彰別に受賞者集合写真、地区別に会員集合写真、最後に参加会員の集合写真を撮影しました。

●式典（鈴鹿の間）

午前11時、式典に先立ちまして、本会の今日を築いて頂きました先達の物故者に黙祷を捧げ、皇學館大学雅楽部の伴奏で国歌斉唱の後、服部副会長の開式の辞がありました。引き続き、三重県知事表彰、三重労働局長感謝状、日本柔道整復師会から会長感謝状・永年業務精励会員表彰・柔道功勞表彰、本会会長表彰として役員表彰・永年会員表彰（50年）・永年会員表彰（30年）・柔道表彰と各表彰が行われました。



表彰受賞者

◆ 三重県知事表彰 ◆

小川 剛生 橋本 誠 服部 和人

◆ 三重労働局長感謝状 ◆

豊田 長億 伊藤 昌夫 橋本 誠

◆ 公益社団法人日本柔道整復師会 ◆

会長感謝状

服部 和人

永年業務精励会員表彰

伊藤 和夫	福岡 保延	杼村 勝三	五嶋 博海	天野 治
前田 武久	大矢由喜夫	山出 美材	榊田 忠正	小川 剛生

柔道功勞表彰

川崎 洋平

◆ 公益社団法人三重県柔道整復師会会長表彰 ◆

役員表彰

豊田 長億

永年会員表彰（50年）

加藤 正一 伊藤 征彦 松久 正美

永年会員表彰（30年）

諸戸 悟	中村 明彦	木下 雄二	吉田 真	藪端 武
上杉 工	柴田 佳幸	橋本 誠	古市 博己	西口二三雄
押越 正	小柴徳太郎	小山 忠宣	橋本 長門	小木曾雅紀

沼 光高 寺本 宗男 寺井 成

柔道表彰

札堂 勇 川崎 洋平



伊藤会長の式辞が前後するというハプニングもありましたが、ご愛敬で。

来賓祝辞では、三重県知事鈴木英敬様、三重労働局長下角圭司様、四日市市長森智広様、
本会顧問で衆議院議員田村憲久先生、衆議院議員の川崎二郎先生・三ッ矢憲生先生、参議院
議員吉川ゆうみ先生、前衆議院議員中川康洋先生、県議会議員の津田健児先生・今井智広先
生、日整会長工藤鉄男様よりご祝辞を賜りました。最後に表彰受賞者代表して小川剛生会員
(伊勢地区)が謝辞を述べ、山出副会長の閉式の辞により式典は終了しました。

●祝賀会 (伊勢の間)

12時45分、皇學館大学雅楽部による浦安の舞の披露で祝賀会が開宴となりました。伊藤
会長の挨拶に続いて日整副会長萩原正和様の乾杯のご発声の後、三重の地酒等を飲み、美味
しい料理をいただきながらの歓談となりました。途中で伊勢地区会員による木遣りが披露さ
れ、全員で掛け声を行い大いに盛り上がりました。次にお白石が紹介され、ご希望の方には
お持ち帰り頂いたところ、皆様に大変喜んでいただきました。宴たけなわでありましたが、
日整副会長松岡保様の万歳三唱により祝賀会は閉宴となりました。



「これまでの50年を振り返り、これからの希望輝く50年を考える」 貴重な経験
ができた50周年記念事業でした。



全国各地に伝わる木遣り歌。元々は、大勢で作業を行うとき力を一つにまとめるための掛け声や合図として歌われていましたが、作業工程の機械化等により人力での作業が殆どなくなった現代では、祭礼などの祝い事にうたわれることが定着しております。

お白石とは、紀伊山系の大台ヶ原を源とする宮川流域で見られる石英系白石で、水晶のように少し透明感のある石肌を持つのが特徴です。伊勢神宮では、一般人が通常入ることの出来ないご正宮の端垣の内側に入り、真新しいご正殿にこのお白石を敷き詰めて奉献する行事を「お白石持ち行事」と称します。次回の御遷宮でのお白石持ち行事は、2033年の夏に執り行なわれる予定です。

雅楽とは飛鳥・奈良時代もしくはそれ以前から伝わる日本固有の音楽と舞、そして約1500年前から順次朝鮮半島や中国など東アジアの大陸から伝来した音楽と舞が融合して、そのまま形を変える事なく存在する世界最古のオーケストラとも言われ、音楽的・歴史的価値が非常に高く評価されております。

平成31年度 東海ブロック会事業計画

年 月 日	事 業 名	会 場
平成31年 4月1日(月)	米田柔整入学式 監査会(平成30年度決算監査会) 正副会長会	P.M 2:00 P.M 2:00 P.M 3:00 「米田柔整専門学校」 名古屋市西区枇杷島2-3-13 TEL 052-562-1210
5月18日(土)	正副会長会 決算理事会	P.M 2:00 P.M 3:00 「岐阜県柔整会館」 岐阜市下奈良1-17-1 TEL 058-273-4015
7月7日(日)	第25回東海4県役員合同協議会	P.M 2:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL 052-871-2211
7月21日(日)	第38回東海ブロック会柔道大会 第16回柔整師杯東海少年柔道選手権大会 第9回東海少年柔道形競技会	A.M10:30 「静岡県武道館」 静岡県藤枝市前島2-10-1 TEL 054-636-2332
10月14日(祝・月)	(前日は生涯学習講習会) 第28回日整全国少年柔道大会 第9回日整全国少年柔道形競技会 第43回日整全国柔道大会	「講道館」 東京都文京区春日1-16-30 TEL 03-3811-7151
11月17日(日)	公益社団法人日本柔道整復師会 第55回東海学術大会愛知大会	A.M10:00 「ウイंकあいち」 名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL 052-571-6131
12月15日(日)	正副会長会 理事会	P.M 2:00 P.M 3:00 「岐阜県柔整会館」 岐阜市下奈良1-17-1 TEL 058-273-4015
2020年 1月11日(土)	各県会長・学術部長合同会議	P.M 3:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL 052-871-2211
1月25日(土)	正副会長会 各県会長及び米田学園・米田病院との情報交換会	P.M 4:30 P.M 5:30 「日本料理 大森」 名古屋市中区三の丸1-1-1 TEL 052-218-2220
2月22日(土)	正副会長会 予算理事会(2020年度事業及び予算審議)	P.M 2:00 P.M 3:00 「岐阜県柔整会館」 岐阜市下奈良1-17-1 TEL 058-273-4015
3月7日(土)	米田柔整卒業式	P.M 2:00 「米田柔整専門学校」 名古屋市西区枇杷島2-3-13 TEL 052-562-1210

* 正副会長会は必要に応じて随時開催する。

* 必要に応じて臨時理事会を開催する。

平成31年度 東海ブロック会収支予算書

(自:2019年4月1日～至:2020年3月31日)

1. 歳入の部

(単位:円)

科 目	平成31年度 予 算 額	平成30年度 予 算 額	前年比	備 考
1. 負 担 金	4,850,000	4,927,500	△77,500	定額負担金 200,000円×4県=800,000円 (平成30年12月末時点の会員数) 愛知(812)・静岡(326)・岐阜(312)・三重(170)・計(1,620人)×@2,500=4,050,000円
2. 預 金 利 子	100	1,000	△900	預金利子
3. 雑 収 入	50,000	50,000	0	ブロック会行事関係者祝儀等
4. 繰 越 金	5,294,875	5,483,123	△188,248	
計	10,194,975	10,461,623	△266,648	

2. 歳出の部

科 目	平成31年度 予 算 額	平成30年度 予 算 額	前年比	備 考
1. 会 議 費	3,000,000	3,000,000	0	
(1) 役 員 費	2,300,000	2,300,000	0	正副会長会、理事会等の旅費
(2) 会 議 費	700,000	700,000	0	正副会長会、理事会等の会議費用
2. 事 務 費	300,000	300,000	0	
(1) 事 務 費	300,000	300,000	0	事務局経費(岐阜県)
3. 渉 外 費	400,000	400,000	0	
(1) 慶 弔 見 舞 費	200,000	200,000	0	会員の慶弔等
(2) その他の渉外費	200,000	200,000	0	日整・ブロック会関係者慶弔見舞、専門学校入学卒業祝経費等
4. 事 業 費	2,520,000	2,520,000	0	
(3) 柔 道 大 会 費	720,000	720,000	0	東海ブロック会柔道大会(担当:岐阜県)、全日本・世界形競技会特別表彰
(4) 日整行事協賛費	700,000	700,000	0	日整全国柔道大会(講道館)
(5) 役員合同協議会費	700,000	700,000	0	東海4県役員合同協議会(担当:三重県)
(6) 助 成 費	400,000	400,000	0	東海ブロック会柔道大会(担当:静岡県)30万円 医師配置5万円等
5. 雑 費	30,000	30,000	0	
(1) 雑 費	30,000	30,000	0	振込手数料等
6. 予 備 費	3,944,975	4,221,623	△266,648	
(1) 予 備 費	3,944,975	4,211,623	△266,648	
計	10,194,975	10,461,623	△266,648	

※項目内の流用を認める。

小学生バスケットボールチームで オスグット病が減少した事例から

羽多野信¹⁾

所属：1) 公益社団法人 三重県柔道整復師会

キーワード：オスグット病，大腰筋，腸骨筋



【はじめに】

オスグット病は2次成長期(10～15歳男児)に多く、骨の急激な成長と大腿四頭筋収縮による反復性牽引力が脛骨粗面部の二次性骨化核の脆弱な部分に力学的作用が加わり発症する。

また身長成長速度パターンの標準化成長速度曲線では、身長成長促進現象が始まる take off age(以下 TOA)から身長最大発育年齢となった時点、peak high age(PHA)の phase II (ゴールデンエイジ)で最も多いと報告されている。(図1)

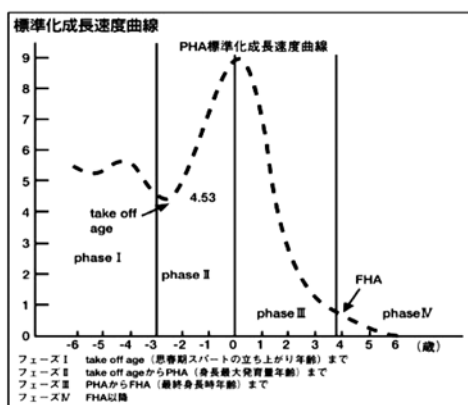


図1 標準化成長速度曲線

しかし、TOA は最大発育量年齢から遡った3年とされており個人差も多くオスグット病の予測は困難と考えられる。

地域で活動している小学生男女バスケットボールチームでは数年前まで男女を通じて膝関節周辺部痛の子どもが多く、コーチより相談を受けていたなかで最近になりオスグット病を含む膝関節周辺部痛の子どもが減少してきたことから検査対象を骨盤周辺に絞り、さらに練習内容や他種目の同年代スポーツ選手と比較検証した。

【対象と方法】

オスグット病好発年齢10～15歳男児11人(平均13.18±1.23歳)を対象に、骨盤前傾運動と後傾運動の可動域を計測した。計測方法は天井から重り

の付いたタコ糸を吊るし、その後ろに矢状面方向に立つ。膝関節伸展位を意識してもらい骨盤の前傾位(図2)と後傾位(図3)の指導を行い上前腸骨棘(以下 ASIS)と上後腸骨棘(以下 PSIS)にマーカーを貼りデジカメにて撮影。ASIS と PSIS とのラインと水平線のなす角度を出し骨盤傾斜角の可動する位置を計測した。計測は左右差に注意しオスグット病以外の膝周辺部痛や腰痛の症状などを比較しながらその原因を考察した。



図2 前傾位



図3 後傾位

【結果】

表1 骨盤最大前傾角度と後傾角度

対象名	スポーツ名	最大前傾角度	最大後傾角度
A	バレー	-21°	1°
B	野球	-19°	1.5°
C	サッカー	-24°	5.5°
D	柔道	-30°	-2.5°
E 左	野球	-28°	-6°
E 右		-26°	-7°
F 左	バスケ	-25°	-5°
G 左	サッカー	-26°	-7.5°
G 右		-26°	-9°
H 左	バスケ	-17°	10°
I 左	サッカー	-21°	-7°
I 右		-19.5°	-6.5°
J 左	バスケ	-22°	-9°
J 右		-21°	-5°
K 左	サッカー	-22.5°	-2.5°
K 右		-23°	-2.5°

※太線はオスグット病の対象者

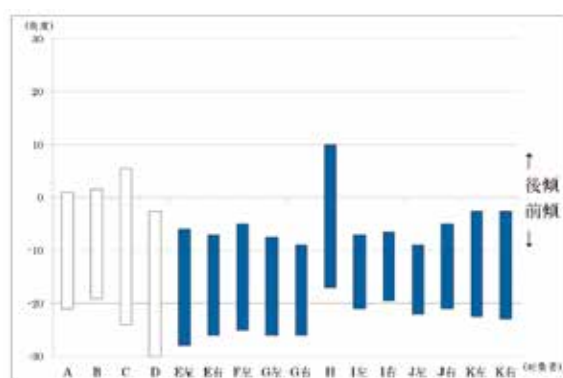


図4 骨盤の可動域

骨盤最大前傾角度と最大後傾角度(表1)でオスグット病患者や膝周辺に痛みを訴える患者は前傾寄りでの可動であった(図4)。オスグット病でも可動域に制限があるものとなないものがあり、症状の初期長期化しているものに変化があった。

【考察】

オスグット病による痛みを訴える患者は前傾位のものも多く重心が前方に移動しやすいと考えた。さらに可動域の減少も見られることから大腰筋や腸骨筋の緊張などにより後傾運動が制限されると推測される。また前傾位が続くと片側性の仙腸関節や股関節の可動性低下が多いと言われており¹⁾ 仙腸関節部の圧痛が出現してくるものもいた。オスグット病で後傾位寄りになった患者は腰部の痛みなどにより代償運動で膝関節軽度屈曲位となり後傾位になっていったと考えた。未発達

な身体での運動では腸腰筋で脊柱を固定できず、前傾位が過剰になりやすい。走る動作での股関節過屈曲や腸腰筋の機能不足から、大腿四頭筋の筋出力が増大し負荷が脛骨粗面部の牽引力を増大する。

このことから成長期の筋肉には柔軟性も大切であるがそれを動かす筋出力の関係性も大切であり、脊柱を安定させた骨盤の正常な可動域からの腸腰筋収縮と伸張の機能性が必要である。

この計測の問題点は症状初期から長期化までで変化していくこと、個体差や治療の経過などでも変化していくことであった。また、オスグット病の原因はその他にもあると考えられ総合的な判断が必要であった。

バスケットボールチームでは3年程前より練習内容が大きく3つ変更していた。1つは練習前のスタティックストレッチを辞めダイナミックストレッチに変更したこと。練習前の柔軟体操に時間を取り過ぎることで筋出力を低下させているのではないかと考え筋出力を優先させた。さらに練習内容では直線的なダッシュを重要視し基本的な走り方を強化した。もう1つは体幹トレーニングを取り入れたことである。成長スパートが始まる以前から腸腰筋の機能を向上することで衝撃の吸収や下肢への負担を軽減できるのではないかと考える。

【まとめ】

オスグット病では前傾角度の増大が多くみられた。

3年程前まで膝周辺の痛みが多かったバスケットボールチームが練習内容を変更することで膝周辺部痛を含むオスグット病が減少した。

しかし、小学生に体幹トレーニングの重要性を理解させることは困難でトレーニングの効果が得られないことも多く個別にチェックを行い指導することが必要であった。

【参考文献】

- 1) 弘田 雄士:姿勢チェックから始めるコンディショニング改善エクササイズ, 有限会社ブックハウス・エイチディ
- 2) 本島 直之:骨盤大腿リズムにおける骨盤後傾量と大腿直筋の筋活動との関係
- 3) 阿久澤 弘:大腰筋の機能, Sportsmedicine2015NO.169
- 4) 大久保 雄:大腰筋の運動中の機能について, Sportsmedicine2015NO.169
- 5) 古賀 友美ほか:股関節屈曲運動における寛骨大腿リズムおよび寛骨後傾運動の男女差
- 6) 堀井 真菜美:スタティックストレッチングとダイナミックストレッチングの筋力発揮特性
- 7) ジョン・ブルーワーほか:ランニング・サイエンス, 2017

平成30年度 ボランティア救護事業報告

月	日	曜日	救 護 大 会 名	会 場	派 遣 者	派遣人数	負傷者数
4	15	日	平成30年度津市スポーツ少年団空手道交流大会兼第10回津市空手道競技大会	サオリーナ内メインアリーナ	榊田 敦	1	4
	21	土	第67回三重県高等学校柔道選手権大会 第33回三重県高等学校女子柔道選手権大会	名張市武道交流館いきいき	西口二三雄	1	2
	29	日祝	第45回三重県空手道選手権大会	四日市中央緑地第一体育館	森田康之	1	0
	29	日祝	第15回鈴鹿地区少年柔道大会	鈴鹿市武道館	桑原 悠	1	1
	30	月祝	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会三重県予選会	三重武道館	岡崎修一	1	1
5	12	土	第49回三重県中学生柔道体重別選手権大会(男女個人)	名張市武道交流館いきいき	西口二三雄	1	5
	13	日	第24回柔整師杯県下少年柔道大会 第5回柔整師杯県下少年柔道形競技会	名張市武道交流館いきいき	堂本洋一医師 榊田 敦・三田康代	3	7
	13	日	第34回三重県少年少女空手道選手権大会 (兼全日本少年少女空手道選手権大会予選会)	西野公園体育館	請井康人	1	7
	26	土	第68回県高校総合体育大会柔道競技・東海・全国予選 (男・女) 団体・個人	名張市武道交流館いきいき	西口二三雄	1	5
	27	日			古市博己・川崎洋平	2	3
6	3	日	三重県春季段別柔道大会・女子大会・高段者大会	三重武道館	岡崎修一	1	0
	10	日	第33回三重県少年柔道大会 兼第15回全国小学生学年別柔道大会三重県予選会	名張市武道交流館いきいき	札堂 勇・西口二三雄	2	1
7	1	日	平成30年度三重県少年柔道強化錬成大会	三重武道館	川口泰史	1	6
	28	土	第65回三重県中学校柔道大会・東海全国予選	名張市武道交流館いきいき	西口二三雄	1	0
	30	月			西口二三雄	1	0
	31	火			西口二三雄	1	0
8	8	水	インターハイ	三重武道館	古市博己・伊藤孝彦 札堂 勇・橋爪良太	4	5
	9	木			田端隆宣・橋本 誠 西岡正訓・内藤将善	4	4
	10	金			川崎洋平・堀 智秋 西口二三雄・伊藤和夫	4	10
	11	土祝			田端隆宣・伊藤孝彦 橋爪良太・川口泰史	4	4
	12	日			古市博己・西岡正訓 川崎洋平・札堂 勇	4	7
	26	日	第47回鈴鹿市柔道大会	鈴鹿市武道館	小森大輝	1	1
	26	日	第47回鈴鹿市柔道大会	鈴鹿市武道館	小森大輝	1	1
9	2	日	第11回三重県空手道錬成大会	四日市楠緑地体育館	長沼一也	1	0
	9	日	第5回CTYカップ・第14回いなべ市少年柔道大会	いなべ市員弁運動公園体育館	水谷澄夫・松岡圭介	2	8
10	14	日	第35回伊勢地区柔道大会	小俣町総合体育館	中井孝好・西岡正訓	2	1
	21	日	第30回津市少年少女空手道選手権大会	津市白山体育館	樋口 守	1	4
	21	日	第10回北勢地区空手道選手権大会 第27回三重県大学・高等専門学校空手道選手権大会	四日市楠緑地体育館	松岡圭介	1	15
	21	日	第41回四日市市少年柔道大会	三滝武道館柔道場	橋爪良太	1	1
	28	日	みえスポーツフェスティバル2018 柔道競技	名張市武道交流館いきいき	古市博己・橋本 覚	2	4
11	3	土祝	第27回鈴鹿ベイロタリークラブ杯少年柔道大会	鈴鹿市武道館	山田哲嗣	1	2
	3	土祝	第6回古田沙保里杯 津市少年少女レスリング選手権大会	サオリーナ	川口泰史	1	11
	4	日				1	27
	11	日	第40回伊賀地区柔道大会	名張市武道交流館いきいき	岡崎修一	1	0
	25	日	平成30年度津市スポーツ少年団秋季空手道交流大会	津市一志体育館メインアリーナ	日野 勝	1	7
	25	日	第44回三重県柔道体重別選手権大会	皇學館大学武道場	橋本 誠・西岡正訓	2	3
12	1	土	平成30年度三重県少年柔道錬成大会	鈴鹿市武道館	池田浩司	1	3
	8	土	第32回三重県中学生柔道新人大会	名張市武道交流館いきいき	岡崎修一	1	1
	25	火	三重県中学生柔道強化錬成試合	名張市武道交流館いきいき	堀 智秋	1	11
平成31年							
1	19	土	第68回三重県高校柔道新人大会兼全国高校柔道選手権大会予選男女個人	名張市武道交流館いきいき	西岡正訓	1	5
	26	土	第68回三重県高校柔道新人大会兼全国高校柔道選手権大会予選男女団体	名張市武道交流館いきいき	堀 智秋	1	3
	27	日	三重県柔道選手権大会兼全日本柔道選手権大会東海予選会	サオリーナ	古市博己・橋爪良太	2	2
2	3	日	第2回三重県昇段審査会	鈴鹿市武道館	古市博己	1	0
	17	日	第38回紀南柔道大会	熊野市営体育館	前田武久・畠 崇晃	2	5
3	13	水	第47回三重県学生柔道大会	三重武道館	橋本 誠	1	2
	17	日	第39回三重県少年柔道大会	三重武道館	古市博己・水谷澄夫	2	3
	24	日	第70回三重県空手道選手権大会	安濃中央総合公園内体育館	大西弘人	1	15
						72	206

すこし息抜きしましょうか。今回は、萬古焼について「萬古陶磁器振興協同組合連合会」様より、お店の紹介を「四日市柿安」様より原稿をいただきましたのでご紹介させていただきます。また、日永の追分から日永神社までの旧東海道を歩いてみましたので併せてご報告させていただきます。

萬古焼

萬古焼の歴史は、江戸時代の元文年間(1736～1740) 桑名の豪商にして茶道に精通し、自ら茶碗を焼くようになった沼波弄山(ぬなみろうざん)が、官許を得て、良質の陶土が出る三重県朝日町小向の星川に開窯し、独自の作品で高い評価を受けることになり、作品に「萬古」「萬古不易」－永久に残り継がれるもの－の印を捺して世に出したことから始まりました。

1800年代に入り、焼きものの作りの火も途絶えた小向に、本格的に萬古焼が再興されることになります。桑名の古物商に生まれた、森有節・千秋兄弟は、古萬古再現と共に煎茶の流行を捉え、精緻華麗な芸風の工芸の時流に合った粉彩上絵付け、木型成型など新しい技法を生み、萬古焼に新しい時代の流れを加えることに成功したのです。その一方で、四日市の阿倉川では、水害によって困窮する村民を救う地場産業として、萬古焼を導入しようと、私財を投げ打ち研究を重ねた山中忠左衛門らの尽力により、村民と共に「四日市萬古焼」の基礎が作られていき、明治時代には、萬古焼は、一躍四日市を担う地場産業として発展を遂げました。

大正時代を迎え、大量生産、輸出品として磁器の人気の高まると、水谷寅次郎の私財をかけた開発によって、多彩な発色で硬質の半磁式の萬古焼「大正焼」が誕生。萬古焼の工業化は大きく前進し、時代を捉えていきました。昭和に入ると、さらに工業化は進み、「硬質陶器」「軽質陶器」の生産が盛んにな

り、終戦後も、いち早く四日市の復興の一端を担い、全国はもとより世界各国へ向け出荷高は黄金期となりました。長い歴史の中で、人々の知恵と努力によって四日市萬古焼は受け継がれ、日本屈指の生産高を誇る陶磁器産地として現在を迎えることができたのです。

丹精をこめて焼き上げられた土と炎の芸術品四日市萬古焼。沼波弄山の「萬古不易」の熱い思いは、時代を超え、今なお変わらず個性ある作品づくりに取り組む人たちの手で四日市萬古焼に、新しいいのちの炎が吹き込まれています。

現在、紫泥(しでい) 急須や土鍋がその代表とされる四日市萬古焼。土鍋は国内生産の80%を占めており、耐熱性に優れているのが特徴です。また、例えば使うほど味わいと光沢が増す紫泥(しでい) 急須、昭和54年に通商産業大臣(現在の経済産業大臣)指定の伝統的工芸品に指定された萬古焼のシンボルで、鉄分を含む粘土を使用し還元焼成を行い、釉薬をかけない焼き締まった紫褐色は緑茶によくマッチします。他にも食器・花器等を生産し、ライフスタイルに合った機能性のある様々なテーブルウェアを提案しており、平成21年には、「四日市萬古焼」は地域団体商標に登録されました。



萬古焼陶祖 沼波弄山



ばんこの里会館

萬古焼を紹介する施設として、平成10年1月オープン、電動ろくろ等を使った陶芸教室、産地ならではの価格で提供しておりますショップ「うつわ亭」、催事や会議に使用できます貸ホール・貸会議室も準備しております。

昨年度は、沼波弄山生誕300年ということで様々な取組を行って参りました。本年度は、20年後の開窯300年に向けて、引き続き萬古焼のPRを行って参りますので、是非ばんこの里会館に足をお運びいただきますようお願い致します。(ホームページ <http://www.bankonosato.jp> TEL059-330-2020)





落ちついた和風のしつらい



ほりごたつ式のお座敷

明治35年、桑名市京町の柿安から独立して以来約120年にわたり、黒毛和牛専門店として本物をお届けしてきました。

すべてのメニューに、良質の脂を多く含む三重県産黒毛和牛の中でも奥深い甘味と旨味を誇る最高級のA5ランクの肉のみを使用しています。

綺麗に「さし」の入った霜降り肉の旨味を活かすため、すき焼きは白ネギの上に肉を広げて乗せ少な目の割り下を加えて焼く感覚で4～5回に分けて食べ頃のタイミングをはかった、又、素材を生かした調理法で、他にないとてもユニークなものです。

しゃぶしゃぶも肉の厚みはすき焼きと同じ。食べ応えがあります。

コース料理に付いている小鉢やお造り焼き物の他、お膳メニューのお料理も全て、一から出汁をとり手作りにこだわっています。

四日市の一流企業様の商談や接待が多いお店ですが、外国のお客様や、ファミリーにも、又、両家顔合せ、お食い初め等、いろいろなシーンでご利用頂いています。



お気軽に召し上がれるお膳メニュー



お電話 059-351-1272

三重県四日市市諏訪栄7-34 近鉄百貨店四日市店10F
 昼11:00～15:00 (LO 14:00) 夜17:00～22:00 (LO 21:00)
 お休み：奇数月の第三火曜日

日永の追分（表紙）～日永神社へ



追分とは道が二つに分かれるところで、日永の追分は、江戸と京を結ぶ東海道と伊勢に向かう伊勢街道との分岐点にあたります。日永の追分の鳥居は桑名の七里の渡しに建てられた一の鳥居に対して二の鳥居と呼ばれました。四日市を描いた浮世絵には、この鳥居を中心にした追分の風景が数多く描かれています。鳥居は、安永三年（1774）に一志郡須ヶ瀬村（現在の津市）出身の伊勢商人渡辺六兵衛が東海道を往来する人のために遥拝鳥居として建てさせたのが最初です。その後たびたび建替えが行われ、先代のものは昭和四十八年（1973）の伊勢神宮式年遷宮の際に、伊雑宮（いざわのみや）の鳥居を移建（昭和50年）したもので九代目にあたりますが、平成28年10月に同じく伊雑宮の鳥居を移建して建替えられました。当初は伊勢街道をまたぐように建てられていましたが、現在は伊勢街道が鳥居の横を迂回して、鳥居をくぐらずに進めるようになり、また、先の移建時に周りが公園化されました。

現在の追分には、常夜燈、道標、清めの手水所があります。常夜燈のひとつは奉獻時から存在したと推定されます。道標は、明暦二年（1656）に建てられたものが、現在日永神社に移されています。それには「京」「山田」「南無阿弥陀仏 専心」「明暦

二丙申三月吉日」とあり、現存する東海道の道標としてはもっとも古いもので、川原町の仏性院の開基専心によって建てられたことが知られています。

日永は、四日市宿と石薬師宿の間に立つことから間の宿とよばれ、周辺には多くの旅籠や茶店などが並んでいましたが、追分は日永の飛地で東海道中膝栗毛に登場する鍵屋をはじめとして浅草屋や野口屋等の旅籠や茶屋、綿屋という両替商もありました。

(<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000002678/index.html> 四日市市のホームページより転載)

これより約200m北上した場所に、東海道日永郷土資料館があります。土蔵付きの商家の建物を利用し、館内には、「日永足袋」「日永うちわ」「あすなろ鉄道」をはじめ、地域に残る歴史や民俗などに関わるさまざまな資料を、古代から昭和30年代ごろまで時代別、テーマごとに展示してありました。色々なものが展示してあるので興味あるものに会えば、一日中ここで過ごせそうです。

更に約1km北上した左手、建物と建物の間に日永の一里塚があります。ここには、江戸から100里となる里程標があった場所です。

そこから400m先左手に日永神社があります。鳥居をくぐると正面に本殿が見えてきます。その右側に追分から移された東海道最古の道標がありました。正面の「大神宮いせおいわけ」ははっきりと読み取れましたが、左面の「京」と右面の「山田」も何とか解りました。しかし、「明暦二丙申三月吉日 南無阿弥陀仏 専心」は、かなり薄くなり読み取り難くなっていました。

約1600mの東海道の旅、散歩感覚で皆さんもいかがでしょうか。

（寺井 成）



少年柔道 県大会～全国大会

第24回柔整師杯県下少年柔道大会・第5回柔整師杯県下少年柔道形競技会

平成30年5月13日(日)名張市武道交流館いきいきにおいて、『第24回柔整師杯県下少年柔道大会』『第5回柔整師杯県下少年柔道形競技会』が開催されました。

午前9時30分古市博己柔道部長の開会の辞、伊藤宣人会長挨拶、ご来賓の挨拶、6年生の相澤燎選手・濱仲千晴選手による選手宣誓後、『第5回柔整師杯県下少年柔道形競技会』が開催されました。県内8地区より7組が参加し「投げの形」の演技を行いました。そ



の後『第24回柔整師杯県下少年柔道大会』に移り県内の道場・柔道教室から238名が参加し小学4・5・6年生男女別による個人戦6部門で頂点を目指しました。

試合が開始されると、会場内は保護者や指導者の盛んな声援で熱気につつまれました。

救護の部門では、本会救護班に加え、伊勢慶友病院院長 脳神経外科医 堂本洋一先生にお越しいただき、救護活動を担当していただきました。

今回の柔道大会各部門の上位4名と形競技会優勝ペアは8月26日(日)大垣市武道館で開催される『柔整師杯第15回東海少年柔道選手権大会』(個人戦)と『第8回東海少年柔道形競技会』へ出場します。

10月7日(日)講道館で開催される『第27回日整全国少年柔道大会』(団体戦)には4年生＝岡煌陽くん、5年生＝田中蒼人くん、坂山凜さん、6年生＝藤田鉄くん、早川綾香さんの5名が三重県チームとして出場します。



第24回柔整師杯県下少年柔道大会

		優 勝	準 優 勝	第 三 位	第 三 位
4年生	男子の部	おか こうよう 岡 煌陽 松阪市武道館	やましな ひろき 山科 裕紀 松阪市武道館	ひろせ 瑠海 広瀬 瑠海 松阪市武道館	まつだ たけし 松田 剛 さざれ道場
	女子の部	いまいし のぞみ 今西 希実 大道館	いずみや あうる 泉屋 天潤 久居柔道教室	あらき まなみ 荒木 愛美 松阪市武道館	と い ひとみ 戸井 仁美 四日市柔道同好会
5年生	男子の部	たなか そうと 田中 蒼人 松阪市武道館	にし たけひろ 西 武弘 庄野柔道クラブ	まえだ さむ 前田 瑠夢 松阪市武道館	ひまわり かずま 樋廻 一真 石樽道場
	女子の部	さかやま りんか 坂山 凜 松阪市武道館	はまぐち ちさと 濱口 知里 鳥武館柔道SP少年団	いとう りんか 伊藤 梨花 紀宝柔道会	さかもと はつた 坂本 羽香 大道館
6年生	男子の部	ふじた てつ 藤田 鉄 久居柔道教室	しまの ひろき 嶋野 浩樹 久居柔道教室	あいざわ りょう 相澤 燎 松阪市武道館	おおた かんた 太田 寛汰 菰野柔道教室
	女子の部	はやかわ あやか 早川 綾香 松阪市武道館	はまなか ちはる 濱仲 千晴 紀宝柔道会	いとう まな 伊藤 愛 さくら道場	まつもと みう 松本 美海 石樽道場

全国大会出場者

4年生	おか こうよう 岡 煌陽	松阪市武道館
5年生	たなか そうと 田中 蒼人	松阪市武道館
	さかやま りんか 坂山 凜	松阪市武道館
6年生	ふじた てつ 藤田 鉄	久居柔道教室
	はやかわ あやか 早川 綾香	松阪市武道館

第5回柔整師杯県下少年形競技会

順位	優 勝		準 優 勝		第 三 位	
道場名	さくら道場		いなべ柔道会		大道館	
取	6年	伊藤 愛 いとう まな	6年	梅山 健吾 うめやま けんご	6年	北仲 悠人 きたなか ゆうと
受	6年	小林 莉心 こばやし りこ	5年	岩田 翔牙 いわた しょうご	6年	正井 佑季 しょうい ゆうき

第15回柔整師杯東海少年柔道選手権大会・第8回東海少年柔道形競技会

平成30年8月26日（日）午前10時30分から大垣市武道館（岐阜県）において、第15回柔整師杯東海少年柔道選手権大会・第8回東海少年柔道形競技会が開催されました。



第15回柔整師杯東海少年柔道選手権大会は、東海4県より選出された4・5・6年生、男・女6部門（各部門16名）による個人戦トーナメントで行われました。各県上位選手の試合とあって切れ味鋭い技が随所に見られ、会場内は指導者・保護者等の熱い声援でつつまれました。

三重県の選手は各学年で健闘し、男子の5年西武弘選手（庄野柔道クラブ）が準優勝、6年嶋野浩樹選手（久居柔道教室）が三位入賞となりました。

その後、第8回東海少年柔道形競技会が開催され、三重、静岡、愛知、岐阜の順で各県代表が形の演武を行いました。三重県は、県大会優勝者が出場を辞退したため準優勝のいなべ柔道会（取）梅山健吾選手（受）岩田翔牙選手が出場しましたが、残念ながら全国大会への出場を逃しました。



第27回日整全国少年柔道大会・第8回日整全国少年柔道形競技会

平成30年10月7日（日）講道館大道場において、第27回日整全国少年柔道大会が開催され、三重県チームは2回戦から登場しました。岩手県チームを4-0で下した東京都Bチームとの試合は、大接戦となりましたが0-1で惜しくも敗退しました。

優勝は、兵庫県で第8回日整全国少年柔道形競技会と併せてW優勝となり幕を閉じました。

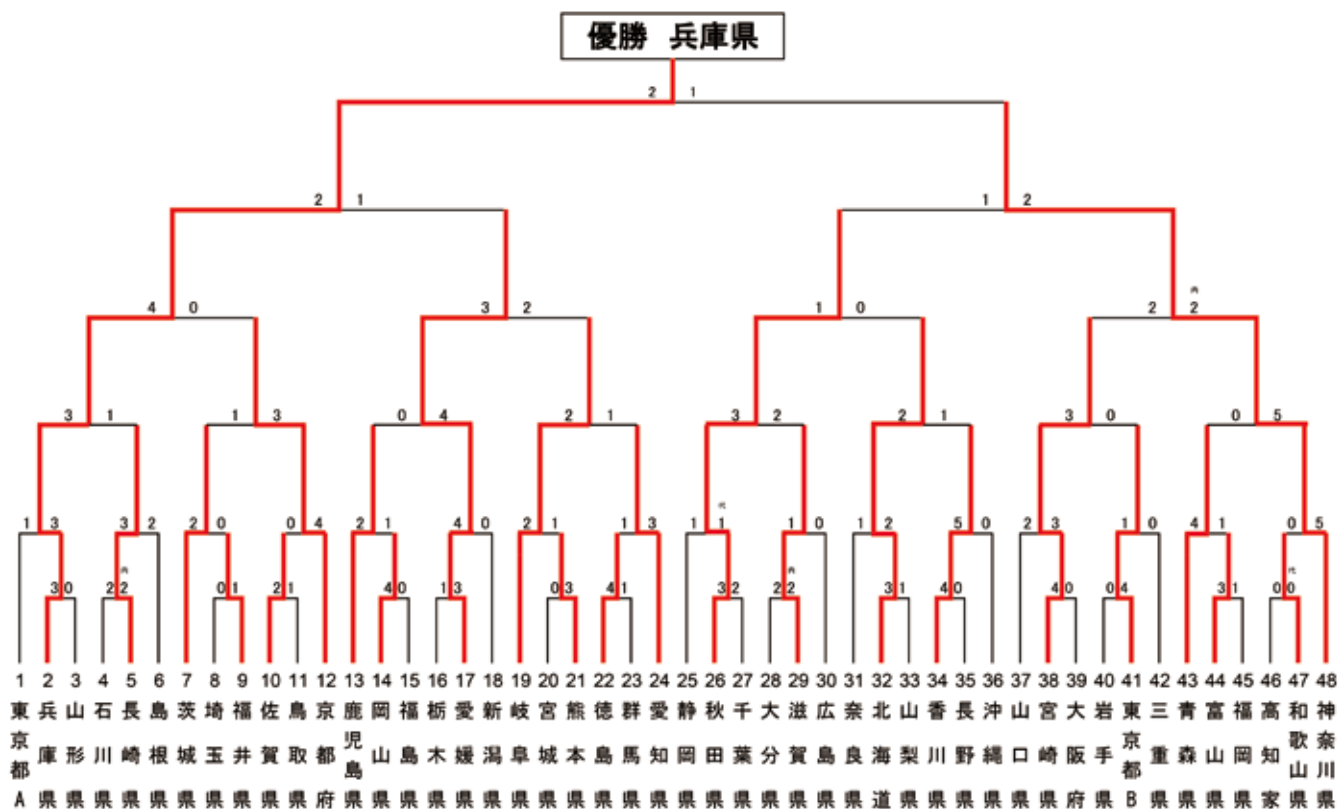


三重県チーム

監督：西岡 正訓 (伊勢地区会員)
 コーチ：水谷 澄夫 (桑名地区会員)
 大 将：藤田 鉄 (久居柔道教室)
 副 将：早川 綾香 (松阪市武道館)
 中 堅：田中 蒼人 (松阪市武道館)
 次 鋒：坂山 凜 (松阪市武道館)
 先 鋒：岡煌 陽 (松阪市武道館)



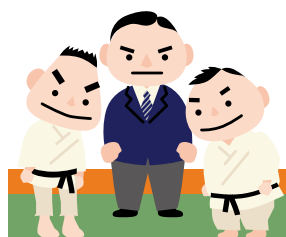
第27回日整全国少年柔道大会試合結果



日整全国少年柔道大会出場選手の感想文

岡 煌陽

全国の選手は、すごくレベルがたかかったです。すごくでかい選手ばかりいました。1回戦からぼくのあいては、すごくでかかったです。1回戦の選手がつよかったです。けっかは、だめだったけどぜんりょくをつくせたのがよかったです。全国大会にいくまでのれんしゅうがいかせたのがうれしかったです。



みんなぜんりょくをだしていたのがいいとおもいました。ほかの県の選手がすごくつよかったです。来年も出場をしたいです。



田中 蒼人

ぼくは、日整の予選で優勝するために、毎日毎日練習をしてきました。ぼくは軽量級なので、重量級の選手の対策もしてきました。優勝することができて本当にうれしかったです。



全国大会では、いつもとはちがう、特別な感じがしました。団体戦なので負けてはいけないという気持ちが強かったです。だけど、勝つことができませんでした。チームのみんなに、申しわけない気持ちでいっぱい涙がでました。本当に本当に悔しかったです。

全国大会が終わって二週間くらいたって、今この作文を書いています。まだ悔しさが残っています。この悔しさはずっと忘れないと思います。またあの畳に立って会場を湧かせたいです。それが今のぼくの目標です。

早川 綾香

わたしは、四年生のころに出場したことがあります。四年生のころは、すごくきんちょうしました。でも今年で二回目だったので、あまりきんちょうしませんでした。



今年のしあいは、東京Bとあたりました。今年の全小で、六年の重量級で三位になった男子でした。わたしは自分でちょっとなっとくしたかなって思いました。でも、わたしがポイントをとっていたらと思いました。でも、今年の日整がすごくたのしかったです。二回も日整に行けて、よかったです。



藤田 鉄

ぼくは、全国大会に出て、いい経験になったなあと思います。理由は、ほかの柔道教室の人たちとしんぼくを深められたし、結果は、良くなかったけど東京の子と試合をして、自分の課題となる組手や、技を最後までかけきるという課題が知れて良かったです。ぼくは、引き分けでした。理由は、自分に負けてしまったからです。最後まで技をかけないでちょんちょんと当てているだけであって、かけきれなかったからだめでした。ぼくは、岡君の試合が良い試合だったなあと思いました。さきに技をかけていって、自分より大きい相手に組手もすぐにつかんで技をかけきってました。そういう点が、ぼくはすごいなあと思いました。三重の中でも話したことがない子ともしゃべれて仲良くなれて良かったです。結果は良いところまでいけなかったけれど、良い経験をできて良かったです。



行事報告（三柔整ギャラリー）



元気アップ教室

津市からの委託事業「元気アップ教室」が昨年に引き続き今年度も開催されます。二年目の今回から基礎コースに加え新たに継続コースが設けられました。

基礎コースは参加者9名で4月15日から、継続コースは参加者12名で4月26日からそれぞれ始まりました。15日には会員8名、26日は会員7名が指導、補助にあたりました。

基礎コースでは、身長、体重、血圧測定後、タンデムバランス・タンデムウォーキング・5回椅子立ち上がり・長座位体前屈のテストを行ってから10項目の運動の説明と実践に移りました。継続コースでは、血圧測定後、基礎コースの運動に6項目の運動が増え、その運動の説明と実践を行いました。

参加者の皆さんには、これから毎日、自宅でも実践していただき、基礎体力の向上を目指して頑張ってください。



実施した日

基礎コース：4/15、5/10、6/14、7/8、8/2、9/9、10/4、11/8、12/6、1/10、2/7、3/3

継続コース：4/26、5/27、6/24、7/26、9/20、9/23、10/21、11/25、12/20、1/27、2/24、3/24



第1回公開柔道練習

平成30年6月3日（日）高田高校武道場において、第1回公開柔道練習が開催され、本会会員11名が参加しました。

午後3時より柔道指導公開練習が開始され入念な準備運動の後、寝技・立ち技の乱取り稽古を行い時折会員による熱心な指導もあり、皆で気持ちいい汗を流し、この日の練習を終えました。



第65回定時総会・第18回協同組合通常総会



平成30年6月10日（日）午前9時30分から、アスト津において第65回定時総会・第18回協同組合通常総会が開催されました。

第65回定時総会は、服部和人副会長の開会の辞、伊藤宣人会長挨拶後、総会に移り議長に亀山功行会員、副議長に久保田宏樹会員が選出され議事に入りました。第1号議題：平成29年度事業報告と計算書類の承認について、第2号議題：定款及び規程の一部改定の承認について、上程された全ての議題が慎重な審議の上、賛成多数で承認可決されました。続いて報告として第1号報告事項：平成30年度事業計画について、第2号報告事項：平成30年度収支予算について、第3号報告事項：新入会員紹介と進み、山出美材副会長の閉会の辞で総会は終了しました。

引き続き、第18回協同組合総会が開催され山出美材理事長挨拶後、総会に移り議長に久保田宏樹組合員、副議長に亀山功行組合員が選出され議事に入りました。第1号議案 平成29年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び損失処理案について、第2号議案 平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、第3号議案 賦課金の額並びに徴収方法について、第4号議案 役員報酬決定について議論され、全ての議題が賛成多数で承認可決され滞りなく終了しました。



第24回東海4県役員合同協議会

平成30年7月1日（日）午後2時から愛知県柔道整復師会館において、第24回東海4県役員合同協議会が開催されました。

森川伸治 東海ブロック会会長が挨拶をされた後「柔道整復師制度及び教育制度の改革について」と題して、昨年10月に施行された改正点について、今回の療養費の算定基準の一部改正について、柔道整復師養成学校について等々説明をされました。引き続き伊藤宣人 三重県会長が「療養費の推移について」と題して、柔道整復師数の推移、他業種との療養費の比較、医療費の推移、療養費の



今後について等々説明をされました。その後の質疑応答では、保険者から柔整師への受診抑制を目的とした被保険者の照会事例について意見が交わされ、日整保険部が取りまとめ厚労省へ報告するために、各社団で内容を精査し保険部に報告していただきたいとの説明があり、協議会は締めくくられました。

その後、米田病院院長の米田實先生が挨拶をされ、情報交換会が始まりとても有意義な時間となりました。

第1回勉強会

平成30年7月22日（日）午後3時より第1回勉強会が本会会館で開催され、27名（会員21名・勤務柔道整復師6名）が参加しました。

第一部は、解剖学、体表解剖学、超音波解剖学に基づいた筋損傷の病態評価～アキレス腱炎やシンスプリントに関与する筋を中心に～と題し、ロコモペイングループ 共同代表・体表解剖学研究所 講師・伊賀リハビリライフサポート（株）代表であり本会伊賀地区会員の堀智秋会員にご講義頂きました。

まずは、脛骨に付着する腓腹筋、ヒラメ筋、後脛骨筋の解剖学的情報・触察法を、スライドやモデルに対し図示・投影しながら説明していただきました。参加者もペアになり積極的に質問しながら図示・投影し、体表上で確認しました。最後にエコー画像でシンスプリントの圧痛の位置確認等を行い終了となりました。

第二部は、『自賠責、被害者請求について』と題し、伊藤会長から、一括請求のデメリット、被害者請求の方法等について詳しく説明していただき、最後に質疑応答で締めくくりました。



第37回東海ブロック会柔道大会

平成30年8月26日（日）午後2時より大垣市武道館において、第37回東海ブロック会柔道大会



が開催されました。開会式では、日整全国柔道大会5回以上出場者と東海ブロック会柔道大会10・5回以上出場者がそれぞれ表彰されました。三重県からは東海ブロック会柔道大会10回以上出場に橋本覚（四段）、同5回以上出場に川崎洋平（五段）が表彰されました。さらに、世界形柔道選手権大会「固の形」で6連覇を果たした岐阜県の（取）中山智史五段、（受）林聖治五段両氏が特別功労者として表彰されました。

試合は各県総当りによる5人制団体戦にて熱戦が展開されました。

大会は静岡県が優勝し、2位愛知県、3位岐阜県、残念ながら三重県は4位という結果でした。大会優秀選手には、三重県からは岡崎修一（弐段）が選ばれました。

三重県チーム

監督：古市 博己（六段）	中堅：岡崎 修一（弐段）
大将：橋本 覚（四段）	次鋒：札堂 勇（参段）
副将：川崎 洋平（五段）	先鋒：橋爪 良太（五段）



第2回勉強会

平成30年9月2日（日）午後3時より第2回勉強会が本会会館で開催され、14名が参加しました。

第一部は、『物理療法の目的と使い分け』と題し、伊藤超短波（株）の大竹宏典様にご講義頂きました。電気刺激の種類、治療目的等々についての説明があり、「物理療法でできることを理解し、何をすれば患者様の疾患が早く改善するのかを考えて、最適なエネルギーで治療していくことが大切であること」を再認識しました。最後に会員がモデルとなりいくつかの刺激方法について通電しながら説明をして頂きました。

第二部は、『療養費について』と題し、伊藤会長から、健康保険法第87条について、償還払いについて、患者様とのコミュニケーションの大切さについて、医科との併給について等々詳しく説明していただきました。



第3回公開柔道練習

平成30年9月23日（日）高田高校武道場において、第3回公開柔道練習（日整全国少年柔道大会団体戦参加者の強化練習）が本会会員7名、団体戦参加の小学生5名、指導者、学生を合わせ27名の参加により開催されました。

午後3時より公開練習が開始され入念な準備運動の後、寝技、打ち込み、乱取り稽古で汗を流しました。2週間後にせまった第27回日整全国少年柔道大会には4年生＝岡焔陽くん、5年生＝田中蒼人くん、坂山凜さん、6年生＝藤田鉄くん、早川綾香さんの5名が三重県チームとして出場します。5人の活躍を期待し、この日の練習を終えました。



第42回日整全国柔道大会

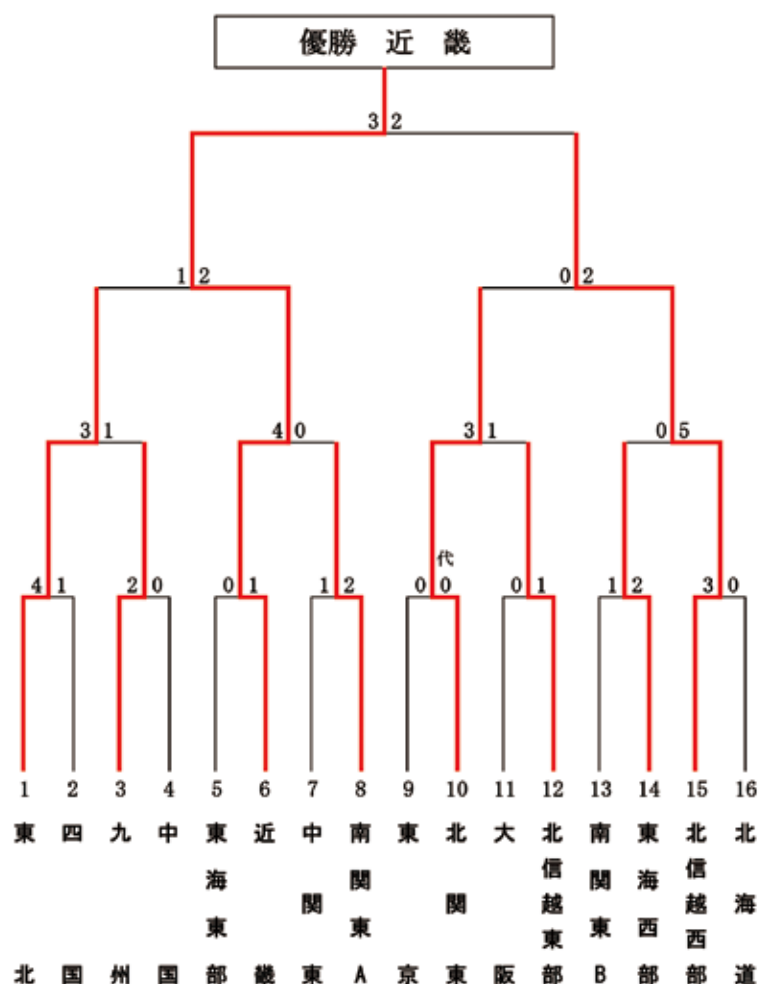
平成30年10月7日(日) 講道館大道場において、第42回日整全国柔道大会が開催されました。

本会からは東海西部代表として、副将 川崎洋平会員、中堅 札堂勇会員が出場。試合は1回戦で昨年度優勝チームの南関東Bと対戦し、2-1で初戦を見事に突破しました。続く2回戦は、北信越西部と対戦し0-5で完敗してしまいました。



優勝は近畿、準優勝は2回戦で対戦した北信越西部でした。今年から開催された平成30年全国柔道整復師高段者大会には、水谷澄夫会員、川崎洋平会員が参加しました。また、審判員として田端隆宣会員が参加しました。

第42回日整全国柔道大会試合結果



社団法人設立50周年記念式典・祝賀会

平成30年11月4日(日) 四日市都ホテルにて社団法人設立50周年記念式典・祝賀会が行われました。詳細は特集(P.2)をご覧ください。

第53回東海学術大会 静岡大会

平成30年11月11日(日) ウィンクあいちにおいて公益社団法人日本柔道整復師会 第53回東海学術大会 静岡大会が開催されました。

開会式の後、会員研究発表8題が行われました。当会からは羽多野信会員(津地区)が、「小学生バスケットボールチームでオスグット病が減少した事例から」と題し、スタンディングストレッチをダイナミックストレッチに、基本的な走り方の強化、体幹トレーニングを取り入れるなど練習内容を変更することにより膝周辺部痛を含むオスグット病が減少した事例について発表しました。



午後からの日整セミナーは、「柔道整復師と地域包括ケアシステムー2018 柔道整復師と介護予防ー」と題し、公益社団法人日本柔道整復師会理事川口貴弘先生が、一般社団法人日本機能訓練指導員協会設立準備中であること、介護保険における柔道整復師の現状、日常生活支援総合事業について等ご説明していただきました。

基調講演は、「次世代へのバトン」と題し、公益社団法人日本柔道整復師会会長工藤鉄男先生が、柔道整復業の歴史について説明され、二度の存亡危機を乗り越え、先達の先生方が命を削り残された柔道整復術。これを継承する柔道整復師の地位確立ができるよう次世代にバトンタッチができるよう皆で努力しようと強く語られました。



特別講演は、「疼痛メカニズムから考える運動器疾患に対する保存療法」と題し、国立大学法人浜松医科大学附属病院 教授 星野裕信先生が、変形性股関節症を中心に説明されました。同じ刺激を受けて痛みを強く感じる方は人工関節の手術を受けても良い結果を得られにくく、むしろ保存療法で投薬と運動によって改善されるものが多いとのお話で、我々の日常の施術にも活かせる貴重なご講演でした。

最後に会員研究発表者及び学生研究発表者の表彰が行われ、閉会となりました。

平成30年度県民公開講座・第23回学術保険研修会

平成31年1月6日(日) 午前9時45分から、アスト津において平成30年度 県民公開講座・第23回学術保険研修会が開催され、145名(本会会員114名)が参加しました。

当初は、平成30年9月30日に開催を予定しておりましたが、台風の影響で順延となり本日の開催となりました。

伊藤会長の開会挨拶の後、救急救命講習会「大規模災害時の対応と災害時応援協定に基づく救護活動」と題し、三重県防災対策部災害対策課 課長補佐兼災害対策班長 中瀬元浩様に自助、共助、公助の力を終結させ「防災の日常化」の実現の必要性や災害時の柔道整復師の地域貢献への期待についてご講義していただきました。



続いて県民公開講座第一部「フレイルを知り認知症を予防しよう」と題し、鈴鹿西部地域包括支援センターセンター長 介護支援専門員 鈴木節子様フレイルの評価法、フレイルと判断された事例、認知症の種類、予防によい運動や食べ物についてご講演していただきました。

午後からは、県民公開講座第二部「神島と地域医療と私」と題し、鳥羽市立神島診療所所長 小泉圭吾先生に神島、へき地医療の現状

について、そしてその地域を理解して自分を地域に合わせることを自覚し天職となったご自身のご経験についてご講演していただきました。

続いて保険集団指導へ移り全国健康保険協会三重支部、三重県国民健康保険団体連合会、東海北陸厚生局三重事務所、健保連三重連合会の皆様より療養費等についてご指導いただきました。



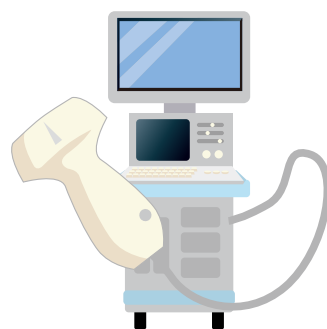
第3回勉強会

平成31年1月20日(日)午後3時より第3回勉強会が本会会館で開催され、会員15名が参加しました。

第一部は、解剖学、体表解剖学、超音波解剖学に基づいた筋損傷の病態評価と治療法について～アキレス腱炎に関する筋や筋膜を中心に～と題し、ロコモペイングループ 共同代表・体表解剖学研究所 講師・伊賀リハビリライフサポート(株) 代表であり本会伊賀地区会員の堀智秋会員にご講義いただきました。

スライドと実際に超音波画像装置(エコー)を用い、画像から得られた下腿骨とアキレス腱の間にある脂肪組織の動態をも考慮した足関節、踵、アキレス腱等の痛みに対する施術方法とアキレス腱炎予防のために内側腓腹筋、外側腓腹筋、ヒラメ筋の三つの筋肉が、踵骨隆起に停止する繊維の流れを踏まえてのテーピング方法などについて説明していただき、最後に質疑応答で締めくくられました。

第二部は、伊藤会長から、一部の者の不正により柔道整復師は依然厳しい目で見られているが、正しい判断のもと正しい請求を行っていれば何ら問題ないと話があり、特に負傷原因、長期理由の詳細な記載などについての説明がありました。



インターハイに救護係として参加

古市博己 柔道部長

平成30年8月8日(水)～8月12日(日)まで、第67回全国高等学校柔道大会インターハイが三重県津市産業スポーツセンターサオリーナにて開催されました。三重県では昭和48年以来の45年ぶりの開催となりました。当時は名張高校の体育館で行われ、会場は狭いし、暑いし、暗いし、もう大変な時代でした。それを思うと今の選手は、会場は広いし、冷房が入り、快適な状態で試合が行われ、本当に幸せだなと思いました。また、当時は女子の試合はなく、個人戦も軽量級(－60kg)、中量級(－70kg)、重量級(+70kg以上)の3階級しかありませんでした。今の選手は色々なトレーニングを行い、手足が長く、重量級でも体もスマートな選手が多く、本当に昔と違って、今の柔道選手はイケメンでカッコいい選手が多くて、女性に人気があり、もてるのが改めて分かりました。(昔はまったく柔道選手はもてませんでした)また、女子選手にしても、きれいなかわいい子が多く、カッコいい選手がたくさんいました。柔道の監督、先生にしても、選手にやさしく接する先生が多く見られました。昔とはまったく違う姿を見て、時代の流れ、本当に時代は変わったのだと思いました。

インターハイ開催に当たり、マットドクターとして名古屋大学柔道部師範、愛知県ガンセンター名誉総長、名古屋大学名誉教授の二村先生に、数ヶ月前より救護に不可欠な物を細かく

ご指導頂き、大変勉強させて頂きました。本当にありがとうございました。また、名古屋大学



柔道部監督、小川先生のご尽力により、たくさんのマットドクターの先生の人選を頂き、本当に助かりました。ありがとうございました。また、三重大学柔道部長、田川先生に大会実行委員会に私と共に出席して頂き、最後の打ち合わせをして頂き、そして事前に本会会館にて、小川先生と共に本会の救護係の先生に講義をして頂き、大変勉強させて頂きました。本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

また、本会救護係として参加して頂いた、伊藤和夫先生、西口二三雄先生、橋本誠先生、西岡正訓先生、伊藤孝彦先生、田端隆宣先生、川崎洋平先生、札堂勇先生、橋爪良太先生、内藤将善先生、川口泰史先生、堀智秋先生、ご協力本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。2年後には今度は三重県で国体があります。また、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



三柔整キッズ、三度目の出場で団体戦準優勝!!



1月27日に開催された第14回東員町長杯争奪東員武道館少年柔道大会に本会会員の子ども達と教え子が出場しましたので報告致します。

桑名地区 伊藤孝彦会員と松阪地区 田端隆宣会員の子供達が団体戦と個人戦に出場し、優勝2名、準優勝1名、団体戦においても先鋒を欠いて4人での出場し、学年も低学年が主力のメンバーでしたが準優勝いたしました!!

準決勝では、1点先取されての試合でしたが、次鋒 真衣、副将 晴之介が点数を取り2-2の同点で代表戦にてキャプテン秀彦が見事一本勝ちし、決勝進出!

決勝では、名門 石博道場に1-4で敗退しま

したが、低学年主体チームで大健闘し準優勝!!

数年前から三重県柔道整復師会子弟で構成する三柔整キッズとして東員町長杯に招待して頂いておりますが、初の決勝進出!!

その後の個人戦では団体戦の悔しさを晴らすが如く獅子奮迅の活躍!!中学生の部には、田端会員の久居柔道教室での教え子である佐藤恵大くんがゲスト参加し大奮闘!

個人戦は学年関係なく体重別の試合、低学年主体の中学生も小学生も大健闘!!

子供達も柔道整復師の子弟とし、日々柔道修行の研鑽に励んでいる成果が発揮されました!!

ぜひとも、将来は三重県柔道整復師会会員の子弟で柔整師杯を勝ち取りたいと思っています!!

ぜひ、会員皆様の中でお子様も柔道されており、一緒に試合に出場して頂ける方が居られましたら是非ともご一報宜しく御願いたします!



団体戦 三柔整キッズ 準優勝メンバー

先鋒：欠員	監督：伊藤 孝彦 会員
次鋒：田端 真衣 (小学2年)	コーチ：田端 隆宣 会員
中堅：伊藤 智彦 (小学3年)	総監督：古市 博己 柔道部長
副将：田端晴之介 (小学4年)	
大将：伊藤 秀彦 (小学6年)	

●中学生軽量級

優勝：田端隆之介 (中1)
3位：佐藤恵大 (中1)

●小学生+50キログラム級

優勝 伊藤秀彦 (小6)

●小学生-50キログラム級

準優勝 田端晴之介 (小4)

世だめし粥占い

津地区 羽多野信 広報部員

私が開院している津市河芸町は、浅井長政に嫁いでいたお市の方と、浅井三姉妹の『茶々、初、江』が幼少期に過ごしていた伊勢上野城跡があり、その他にも様々な歴史を感じる祭りや行事があります。この地域は農耕に適した土地で「黒田米」という有名ブランド米があります。毎年2月14日に津市指定無形民俗文化財の「世だめし粥占い」という行事があり、全六百巻ある大般若経を毎年十巻ずつ転読し六十年かけて完了する祈祷で500年もの歴史があります。世

だめし粥占いは五穀豊穡、村落繁栄、家内安全を願う行事で、用意した3本の竹筒を入れて粥を炊きます。竹筒の長さは10cm程度の小指大の丸竹で「早生(わせ)」「中生(なかくて)」「晩生(おくて)」と書かれており大般若経の祈祷の後、粥粒が多く入っている竹筒で米の品種や田植えの時期を占うそうです。同様の行事は各地でもあり多くは神社で行われますが仏式で行われるものは珍しいそうです。みなさん機会があれば「黒田米」をご賞味ください。

人の姿勢は日常の環境から形成されています。

悪い姿勢は体にどんな影響を及ぼすのか？

例えば猫背が酷くなると首が前に突き出た状態（ストレートネック）になり、頸椎が真っ直ぐな状態になって脳に血液を送る太い血管の血流を悪くし脳梗塞を引き起こしたり、腰の場合であれば反り腰になると腹筋やお尻の筋肉を使わなくなり大腿部の筋肉に負荷がかかり、上半身の体重を腰と股関節で受け止めるようになり、腰痛やヘルニアになる可能性が高くなります。

特に女性の場合、姿勢が悪くなると骨盤の歪みやズレが原因で生理痛や便秘などの症状が出やすいと言われています。

また、悪い姿勢で一部の筋肉が常に緊張した状態になり、身体にコリや痛みを引き起こしそれが睡眠の質を阻害したり、内臓や筋肉の中を走る血流を悪くして新陳代謝が低下し、脂肪の燃焼も悪くなり痩せにくい体になります。

このような状態にならないよう日常動作のチェックをどのようにすればいいのか？

歩く時

背筋を伸ばし特に下腹部（腹横筋）とお尻（中殿筋）を意識しながら、いつもより大腿、速足で歩く、これだけで運動量もアップします。

椅子に座る時

下腹部（腹横筋）に力を入れ、お尻（中殿筋）を引き締めてから腰を下ろし背筋を伸ばす。自然と膝が閉じれば正しく座れている証拠です。日常的に行うことで（腹横筋）が鍛えられ、運動量もアップします。

掃除機をかける

下腹部（腹横筋）に力を入れて、肩関節部から動かすことを意識し、利き手でできるようになったら反対の手でも行う。

髪を洗う

腕を伸ばし、両肘を肩より高く上げ、手首だけでなく肩を軸に腕を大きく回すように動かして洗う。



最後に日常生活の注意点として

1. 荷物やカバンなどを決まった方で持っている
.....姿勢が片方に偏ってしまう。
2. 座った時に背中を丸めている
.....猫背に成ってしまう。
3. 立っている時に片足にばかり体重をかけている
.....骨盤、上半身が傾いてしまう。
4. 足を組んで座っている
.....骨盤が歪んで腰も曲がりやすい。
5. パソコンや書き物などデスクワークが多い
.....前かがみで、首や腰に負担が増える。

このような事を意識して日常生活をおくりましょう。



新入会員紹介

①入会日 ②施術所名 ③施術所住所
④柔整師になった動機 ⑤趣味 ⑥今後の目標



伊勢地区 伊藤 圭晃 先生

- ①平成30年4月
- ②いとう整骨院
- ③伊勢市河崎1丁目12-3
- ④家業を継ぐため
- ⑤筋トレ、魚釣り
- ⑥地域医療や柔整師会のために貢献出来るよう精進していきたいです。



鈴鹿地区 山田 哲嗣 先生

- ①平成30年5月
- ②山田接骨院
- ③鈴鹿市中江島町19-38
- ④学生時代、バスケットボール部に所属していてケガで辛い経験をしたので、そういう人を減らし、早く復帰させてあげられる仕事がしたいと思い柔整師になりました。
- ⑤スポーツ観戦
- ⑥地域で信頼される接骨院を目指したいです。



四日市地区 鈴木 壮志 先生

- ①平成30年5月
- ②みなみ接骨院
- ③四日市市東日野町230-6
- ④人体の興味深さと、それに対して徒手で回復に導いていく事への面白さを感じていたから。
- ⑤旅行
- ⑥一日でも早く地域に根付き、信頼を得る院にすること。



津地区 倉田 貴仁 先生

- ①平成30年8月
- ②くらた接骨院
- ③津市久居新町1088-4
- ④学生時代に通っていた柔道場の師範の影響
- ⑤釣り
- ⑥どんな事でも相談されるような人間になりたい

ご結婚

ご結婚おめでとうございます。末永くお幸せに！

平成31年 2月24日 渡邊 大祐

退会

平成30年 8月31日 田中 猛
平成30年 8月31日 東 秀光
平成30年10月31日 藤崎 亮

お悔やみ

心よりご冥福をお祈りいたします。

平成30年 5月28日	村部 雅彦 会員	御母堂様
平成30年 6月30日	沢村 尚人 会員	
平成30年 8月17日	長沼 一也 会員	御母堂様
平成30年10月14日	及川 真人 会員	御令室様
平成30年11月 9日	上杉 工 会員	
平成30年12月23日	浜地 賢 会員	御母堂様
平成31年 1月21日	永田 克也 会員	御母堂様
平成31年 2月15日	仲野 弥和 会員	御母堂様



事務員紹介



およそ2年間勤めていただいていた竹村さんが1月31日退職されました。2月から新たにパート小久保裕美さん(写真)が加わり、中西さん、伊豆川さん、西岡さんの4名で業務を行っております。

原稿募集

投稿方法 地区名、会員氏名を明記して下さい。匿名を希望する場合は「匿名希望」と明記していただければ配慮いたしますが、氏名、連絡先の記載の無いものは掲載できない場合もありますのでご了承ください。

1原稿につき200～800字程度(1000字を超えても構いません)、マイクロソフト社ソフト「ワード」により作成したデータを事務局までメール・郵送・FAXのいずれかの方法でお願いします。手書きによる原稿は事務局宛に郵送でお願いします。(FAXでの送信の場合、データをプリントアウトした原稿は大丈夫ですが、手書きの原稿は文字が判別しにくい場合がありますのでご容赦下さい)

写真を添える場合は、本文とは別に現像した写真を同封(郵送の場合)かJPEGデータを添付(メールの場合)して下さい。郵送頂いた写真は後日、返却させていただきます。

宛先・FAXメール ●〒514-0016 津市乙部2086
(公社)三重県柔道整復師会 内 広報部行
●FAX (059) 222-3857 ●メールアドレス: info@miejusei.com

本会ホームページも随時更新していますのでご覧頂きご意見・ご感想等お寄せください。

<http://www.miejusei.com/>

編集後記

平成9年6月22日に「三柔整たより」が誕生し、約22年が過ぎた今年度号が平成最後の三柔整たよりとなりました。

昨年度の本会の一大事業は何といても社団法人設立50周年記念事業でした。準備にあたり平成12年3月に本会から発行された「未来につなぐ30年」を読み返してみた。43年6月社団法人設立総会の議長に祖父坂井文雄の名が。設立に関する同意書には、父寺井文成の名も。それから50年、周年事業について準備の段階からお手伝いできた巡り合わせに感動、感謝し、未来につなぐ役割の一端を担えるよう自己研鑽に努めなければと心に刻んだ時であった。

今年度号の表紙の写真は日永の追分を選んだ。みえ旅助が四日市編だと言う事もあったが、新しい時代に向かい岐路に立たされているような気がしたからである。道が二つに分かれる。右に行くべきか、左にすべきか、攻め続けるべきか、守るべきか。人生においての岐路は、単純に二つの時もあれば、多岐にわたることもあるだろう。進むべき道を誤ることなく、立ち止まってでも「正しい」道を選んでいきたい。我々の業界においても、皆さんの人生においても、明るい未来であることを切に願うばかりです。

最後になりましたが、萬古陶磁器振興協同組合連合会様、四日市柿安様をはじめこの広報誌に関わっていただいた全ての方に感謝いたします。
(寺井成)

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。



平成31年4月25日発行

公益社団法人 三重県柔道整復師会

〒514-0016 三重県津市乙部 2086
電話(059)222-3832 FAX(059)222-3857

発行人：伊藤 宣人 編集者：広報部
印刷所：伊藤印刷株式会社